

# 第2期 美郷町観光振興計画

令和8年3月

秋田県美郷町



# 目 次

## 第1章 計画の基本的な考え方

- 1. 計画策定の趣旨・位置づけ . . . . . 1
- 2. 計画期間 . . . . . 2

## 第2章 第1期美郷町観光振興計画の評価

- 1. 第1期美郷町観光振興計画の基本方針 . . . . . 4
- 2. 基本方針に基づく施策の取り組み実績 . . . . . 5
- 3. 基本目標の達成度 . . . . . 6

## 第3章 本町の観光を取り巻く現状と課題

- 1. 統計でみる観光産業の現状
  - (1) 年間入込客数及び月別入込客数 . . . . . 8
  - (2) 町内宿泊施設における年間宿泊者数 . . . . . 10
- 2. 施策の効果と課題
  - (1) 道の駅美郷関連 . . . . . 11
  - (2) アウトドア・アクティビティ関連 . . . . . 13

## 第4章 第2期美郷町観光振興計画の基本方針と目標値

- 1. 基本方針 . . . . . 17
  - (1) 既存フィールドの積極活用
  - (2) 持続可能な観光振興
- 2. 基本目標 . . . . . 19
  - (1) 年間滞在型観光客数の数値目標
  - (2) ネイチャーガイドの数値目標



## **第 1 章**

### **計画の基本的な考え方**

- 1. 計画策定の趣旨・位置づけ**
- 2. 計画の期間**

# 第1章 計画の基本的な考え方

---

## 1. 計画策定の趣旨・位置づけ

美郷町は、平成16年11月1日の新町発足後、第1次の「美郷町総合計画」（平成17年度～平成26年度）、「第2次美郷町総合計画」（平成27年度～令和3年度）及び「第3次美郷町総合計画」（令和4年度～令和11年度）を策定し、目指すべき将来像の実現に向けて総合的かつ計画的なまちづくりを進めてきました。

この総合計画における観光分野の目標については、第2次美郷町総合計画では「人がふれあう—交流でにぎわいと笑顔あふれるまち」の基本目標のもと、「滞在型観光の推進」を、第3次美郷町総合計画では「活力・賑わい」の基本理念のもと、「体験型・滞在型観光の充実」をそれぞれ掲げ、各般の施策を推進してきました。

これらの総合計画を踏まえた観光施策の推進を図るため、町では平成31年3月に「美郷町観光振興計画」を策定し、これまで十分でなかった新たな観光スタイルのニーズに応えるため、既存の地域資源のネットワーク化による新たな観光振興施策を構築することや、物産振興に寄与する施策に取り組んできました。

具体的には、フィールド整備として、女神山・七滝山の登山道の整備、新設や標柱、登山ポストの設置、レンタル用品の整備として、レンタサイクルやカヌー・カヤックの整備、観光人材の整備として美郷町ネイチャーガイドの構築、情報収集と発信の共有・一元化の取り組みとして、観光情報センターを町の観光拠点である道の駅美郷へ移転したほか、デジタルサイネージの設置や観光情報データベースの構築・運用に取り組んできました。

また、平成31年1月31日に株式会社モンベルと「包括連携協定」「防災協定」を締結したことをきっかけに、体験型・滞在型観光の実現に向けた取り組みの一つとして、秋田県初となるモンベル直営店を誘致し、令和2年8月27日に開業するとともに、隣接する道の駅美郷を令和3年3月31日にリニューアルオープンいたしました。

こうした取り組みの結果、平成30年で93万人台だった入込観光客が令和6年には105万人台まで増加し、地域経済の活性化にも寄与してきました。

しかし、同時にいくつかの課題もまた、浮き彫りになりました。例えば、観光

施設の老朽化の問題や地域資源を活かした観光の実現に向けた取り組みの強化が求められています。

現計画が終期を迎えることを受け、これらの成果や課題を明確にし、次のステップへと進むため第2期美郷町観光振興計画を策定し、地域の実情や、町の現状を踏まえた観光施策に取り組みます。

## **2. 計画の期間**

本計画の期間は、第3次美郷町総合計画「行動計画（後期）」における施策の基本的な考え方や推進方針と連動させることから、同計画期間に合わせ、令和8年度から令和11年度までの4年間を期間とします。



## **第 2 章**

### **第 1 期美郷町観光振興計画の評価**

- 1. 第 1 期美郷町観光振興計画の基本方針**
- 2. 基本方針に基づく施策の取り組み実績**
- 3. 基本目標の達成度**

## 第2章 第1期美郷町観光振興計画の評価

---

### 1. 第1期美郷町観光振興計画の基本方針

本町が有する多様で多彩な地域資源の魅力を磨き上げ、町民・事業者・各種団体・行政が推進主体となって新たな観光振興に取り組み、以下を基本方針として観光施策を展開しました。

#### **方針1. 地域資源とニューツーリズムとのネットワーク化**

- (1) 地域資源の連続性
- (2) 新たな地域資源の発掘と活用
- (3) 体験型・滞在型観光の確立

#### **方針2. 観光客の受け入れ体制の構築**

- (1) 受け入れ体制の充実
- (2) 観光人材の育成

#### **方針3. 情報共有と受発信体制の構築**

- (1) 観光情報の収集・共有・発信

## 2. 基本方針に基づく施策の取り組み実績

第1期美郷町観光振興計画の基本方針に基づく施策の取り組み実績は次のとおりです。

計画	主な実績
<p><b>方針1.地域資源とニューツーリズムとのネットワーク化</b></p> <p><b>(1) 地域資源の連続性</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域資源のグルーピング</li> </ul> <p><b>(2) 新たな地域資源の発掘と活用</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ニューツーリズムとの連携</li> <li>○ フィールド整備</li> <li>○ レンタル用品整備</li> <li>○ 林道整備</li> </ul> <p><b>(3) 体験型・滞在型観光の確立</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域資源のネットワーク化</li> <li>○ 体験型・滞在型旅行商品の確立</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 女神山に土手森ルートを新設したほか、七滝山は山頂や水源の森、木和田山までの登山道を整備。</li> <li>○ 真昼山、女神山、七滝山に登山届ポストや標柱、大型案内看板を設置。</li> <li>○ レンタサイクルを刷新。</li> <li>○ カヌー・カヤック及びスノーシューを配備。</li> <li>○ 七滝林道整備を開始。</li> </ul>
<p><b>方針2.観光客の受け入れ体制の構築</b></p> <p><b>(1) 受け入れ体制の充実</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 二次交通アクセス</li> <li>○ 宿泊施設</li> <li>○ 案内誘導看板等整備</li> </ul> <p><b>(2) 観光人材の育成</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 観光ガイド</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 観光乗合タクシー「ミズモシャトル」の実証事業を実施。</li> <li>○ 民泊等の経営に関する講演会を開催。</li> <li>○ ネイチャーガイド募集・育成を実施。</li> </ul>
<p><b>方針3.情報共有と受発信体制の構築</b></p> <p><b>(1) 観光情報の収集・共有・発信</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 環境拠点施設の整備</li> <li>○ 情報収集と共有</li> <li>○ 情報発信</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 名水市場湧太郎、美郷町観光情報センター及び道の駅美郷にデジタルサイネージを設置し、観光情報データベースを構築。</li> </ul>

### 3. 基本目標の達成度

基本方針による観光施策の展開を推進するため、入込客数と宿泊平均稼働率を達成すべき数値目標として掲げました。令和7年におけるそれぞれの達成度は次のとおりです。

#### (1) 入込客数の数値目標（平成29年→令和7年）

平成29年現況数値 60万人 → 令和7年数値目標 80万人

**令和7年数値実績 68万人（未達成）**

※上記入込客数は美郷町ラベンダー園、六郷湧水群、名水市場湧太郎、道の駅美郷及び美郷町観光情報センターの主要観光5地点の合計人数。

#### (2) 宿泊平均稼働率の数値目標（平成29年→令和7年）

平成29年現況数値 26% → 令和7年数値目標 40%

**令和7年数値実績 45%（達成）**

※上記宿泊平均稼働率は千畑温泉サン・アール、六郷温泉あったか山及び宿泊交流館ワクアスの3施設の稼働率。



## **第 3 章**

### **本町の観光を取り巻く現状と課題**

- 1. 統計でみる観光産業の現状**
- 2. 施策の効果と課題**

## 第3章 本町の観光を取り巻く現状と課題

### 1. 統計でみる観光産業の現状

#### (1) 年間入込客数及び月別入込客数（秋田県観光統計より）

秋田県観光統計で主要観光地点に定められている5地点における年間の入込客数は次のとおりです。令和2年は新型コロナウイルスの影響により、年間入込客数は落ち込んでいるものの、令和3年の道の駅美郷のリニューアルオープンもあり、その後は増加傾向にあります。

主要観光5地点における月別入込客数は、6月にピークを迎えます。これは、初夏から盛夏にかけて清涼感を呼ぶ六郷湧水群をはじめ町内各地にある清水が観光拠点として最適な時期を迎えること、美郷町ラベンダー園が開園することなどが主な理由として考えられます。ピーク時の観光客数は17万人を記録しています。12月から2月頃にかけては六郷のカマクラや蔵元の蔵開きが行われますが、気温の低下や降雪などが原因で観光客数が低下していると考えられ、観光客数は3万人前後まで落ち込んでいます。

#### <年間入込客数（月別）>

(人)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
平成30年	24,343	23,331	31,231	34,027	36,990	98,296	60,471	58,950	45,433	42,543	37,186	27,454	520,255
平成31年	21,314	23,775	29,946	33,234	41,210	81,446	55,074	56,309	46,104	42,707	37,715	29,009	497,841
令和2年	24,050	24,985	27,435	18,056	23,040	40,153	42,861	53,752	51,615	43,938	25,878	19,080	394,843
令和3年	10,619	14,940	17,349	73,318	74,679	71,639	63,589	68,051	87,038	74,141	53,286	37,989	646,638
令和4年	28,126	25,350	39,459	46,767	60,909	114,767	75,638	65,349	62,431	64,280	51,969	34,772	669,817
令和5年	30,963	33,527	44,490	47,683	59,700	149,587	65,678	72,199	58,315	56,787	45,246	34,162	698,337
令和6年	29,900	36,354	37,787	47,238	56,919	173,113	50,047	70,486	63,001	63,162	51,499	35,702	715,209
令和7年	31,823	31,760	40,501	45,909	58,789	137,182	56,562	74,627	60,166	58,726	48,384	36,457	680,886

※主要観光5地点：美郷町ラベンダー園、六郷湧水群、名水市場湧太郎、道の駅美郷、美郷町観光情報センター

<年間入込客数（観光地点別）>

（人）

	美郷町ラベンダー園	六郷湧水群	名水市場湧太郎	道の駅美郷	美郷町観光情報センター	計
平成30年	79,500	30,931	50,598	359,226	0	520,255
平成31年	56,500	31,897	50,671	358,773	0	497,841
令和2年	0	20,371	57,818	316,654	0	394,843
令和3年	0	50,576	100,988	495,074	0	646,638
令和4年	67,200	34,406	53,761	490,593	23,857	669,817
令和5年	105,700	29,612	48,974	490,142	23,909	698,337
令和6年	109,200	33,416	52,919	495,151	24,523	715,209
令和7年	72,000	33,750	54,053	497,407	23,676	680,886
計	490,100	264,959	469,782	3,503,020	95,965	4,823,825

※令和2年度及び令和3年度の美郷町ラベンダー園の入込客数は、新型コロナウイルス対策により、美郷町ラベンダーまつりを中止したため、0人で集計しています。

※美郷町観光情報センターは、令和3年3月31日に道の駅美郷の隣に移転したため、令和4年より集計を開始しています。

## (2) 町内宿泊施設における年間宿泊者数

千畑温泉サン・アール、六郷温泉あったか山、宿泊交流館ワクアスにおける年間の宿泊者数は、平成30年から平成31年までは8千人前後で推移し、新型コロナウイルスの影響により令和2年に一度落ち込んだものの、その後は徐々に回復し、令和7年には約1万3千人まで増加しています。

各施設の稼働率は、令和6年で千畑温泉サン・アールが21.03%、六郷温泉あったか山が45.42%、宿泊交流館ワクアスが60.09%であり、ワクアス以外は全国平均の59.60%を下回っています。

また、旅行・観光消費動向調査によると、令和6年の国内旅行の宿泊率が54.29%（日本人国内延べ宿泊旅行者2億9,314万人/日本人国内延べ旅行者数5億3,995万人）となっていることに対して、令和6年の本町の宿泊率は1.67%にとどまっています。

### <年間宿泊者数及び稼働率>

施設名	区分	平成30年	平成31年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
千畑温泉サン・アール	宿泊者数	3,395人	3,078人	2,080人	2,049人	1,884人	2,279人	1,931人	1,983人
	稼働率	36.38%	31.50%	23.27%	22.87%	23.33%	24.23%	25.80%	24.67%
六郷温泉あったか山	宿泊者数	3,097人	3,016人	2,609人	3,595人	4,839人	5,189人	5,259人	5,578人
	稼働率	25.40%	24.23%	25.53%	29.97%	43.51%	42.91%	45.42%	43.54%
宿泊交流館ワクアス	宿泊者数	1,994人	2,377人	2,064人	3,057人	3,673人	4,371人	4,728人	5,162人
	稼働率	22.04%	22.43%	23.93%	39.65%	47.36%	53.80%	60.09%	64.58%
合計	宿泊者数	8,486人	8,471人	6,753人	8,701人	10,396人	11,839人	11,918人	12,723人

### <年間宿泊率>

	平成30年	平成31年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	合計
入込客数	520,255人	497,841人	394,843人	646,638人	669,817人	698,337人	715,209人	680,886人	4,823,826人
宿泊者数	8,486人	8,471人	6,753人	8,701人	10,396人	11,839人	11,918人	12,723人	79,287人
宿泊率	1.63%	1.70%	1.71%	1.35%	1.55%	1.70%	1.67%	1.87%	1.64%

## 2. 施策の効果と課題

### (1) 道の駅美郷関連

#### 【施策】

- 秋田県内初となる株式会社モンベル直営店を誘致し、令和2年8月27日に道の駅美郷敷地内にモンベル秋田美郷店がオープンしました。
- 町の観光拠点として、令和3年3月31日に道の駅美郷がリニューアルオープンしました。
- 道の駅美郷の道路情報提供施設内に美郷町観光情報センターを移転しました。



モンベル秋田美郷店



道の駅美郷



美郷町観光情報センター

#### 【効果】

##### <観光入込客数>

施設名	平成 31 年	令和 2 年	令和 3 年
			モンベル秋田美郷店オープン 道の駅美郷仮店舗営業
道の駅美郷	359 千人	317 千人	495 千人
名水市場湧太郎	51 千人	58 千人	101 千人

- 道の駅美郷のリニューアルオープン及びモンベル秋田美郷店のオープンにより、来訪者の双方往来が図られたほか、まちなかの観光拠点施設である名水市場湧太郎の入込客数も増加しました。
- 主要観光5地点（美郷町ラベンダー園、六郷湧水群、名水市場湧太郎、道の駅美郷、美郷町観光情報センター）における観光入込客数についても、平成31年の498千人に対し、令和6年には715千人まで増加するなど、町内全体に誘客効果が波及しました。

**【課題】**

- 道の駅美郷の施設環境整備等により、観光入込客数の増加につながりましたが、リニューアル効果が今後も続くとは限らないため、これらを有効活用してさらなる誘客を図る必要があります。

## (2) アウトドア・アクティビティ関連

### 【施策】

- 令和2年度から令和6年度にかけて、七滝山、女神山及び真昼山における登山道の登山届ポスト、大型案内看板等を設置しました。
- 女神山においては、令和3年度に土手森ルートを新設しました。
- 七滝山においては、令和4年度に山頂までの登山道の整備、水源の森（滝）までの登山道の整備をしたほか、令和5年度には木和田山までの登山道の整備を行いました。
- 令和4年度にレンタサイクルを刷新し、令和5年度には道の駅美郷を加えて、名水市場湧太郎、六郷温泉あったか山、雁の里山本公園の計4箇所にサイクルサポートステーションを設置しました。
- 令和3年度より、美郷町ネイチャーガイドの募集・講習・認定を実施しました。
- 令和5年度から令和6年度にかけて、スノーシューやカヌー・カヤックを購入し、ネイチャーガイドによるイベント等で活用しました。



登山届ポスト



大型案内看板



スノーシューイベント



案内標柱



サイクルサポートステーション



カヌー・カヤックイベント

【効果】

＜登山者数＞ ※登山届ポストからの推計値

登山道		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	合計
真昼山	赤倉登山口	519人	198人	135人	294人	1,146人
	峰越登山口	162人	231人	204人	156人	753人
	善知鳥登山口	129人	60人	45人	24人	258人
	小計	810人	489人	384人	474人	2,157人
女神山	後ろのツル登山口	2人	4人	4人	17人	27人
	土手森登山口	29人	2人	6人	6人	43人
	小計	31人	6人	10人	23人	70人
七滝山	登山口	33人	12人	53人	45人	143人
	小計	33人	12人	53人	45人	143人
合計		874人	507人	447人	542人	2,370人

○登山届の提出先は、これまでは秋田県警察のみでしたが、登山届ポストの設置により、町としても登山者数の把握が可能となりました。

＜美郷町ネイチャーガイド認定者数＞

年度	認定種別						実ガイド人数
	湧水	登山	森林	星空	カヌー	スノーシュー	
令和3年度	16	16	11	8	/	/	33
令和4年度	4	7	10	2	1	/	7
令和5年度	/	/	/	/	4	12	/
令和6年度	/	/	/	/	/	/	/
令和7年度	-4	-4	-2	-2	0	0	-7
合計	16	19	19	8	5	12	33

※令和3年度から令和5年度にかけて新規認定を行ったネイチャーガイドについて、令和7年度に更新意向調査を行い、人数変更がありました。

＜美郷町ネイチャーガイド案内実績＞

年度	湧水		登山		森林		星空		カヌー		スノーシュー		合計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
令和4年度	28	689	4	57	6	63	1	3	/	/	/	/	39	812
令和5年度	23	399	1	4	2	20	0	0	/	/	/	/	26	423
令和6年度	16	354	1	10	2	28	1	39	5	20	3	29	28	480
令和7年度	11	248	0	0	2	19	0	0	4	20	2	14	19	301
合計	78	1,690	6	71	12	130	2	42	9	40	5	43	112	2,016

○美郷町ネイチャーガイドの認定・育成により、ガイドを活用した観光イベント等が行われ、体験型・滞在型観光の推進に寄与しました。

### <レンタサイクル貸出実績>

施設名	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	合計
名水市場湧太郎	37件	41件	45件	47件	170件
六郷温泉あったか山	12件	9件	10件	9件	40件
雁の里山本公園	20件	22件	44件	20件	106件
道の駅美郷		49件	48件	27件	124件
合計	69件	121件	147件	103件	440件

○令和4年度のレンタサイクルの刷新により、利用促進が図られ、令和5年度から令和6年度にかけて貸出件数が増加しました。

### 【課題】

- 登山道については各種整備が行われましたが、登山は天候等に左右されやすいため、登山者数は伸び悩んでいます。
- 美郷町ネイチャーガイド制度の創設により、さまざまな種別のガイドの認定が行われましたが、案内実績が年々減少しており、制度活用に向けた取り組みが必要です。

## 第 4 章

### 第 2 期美郷町観光振興計画の 基本方針と目標値

1. 基本方針
2. 基本目標

## 第4章 第2期美郷町観光振興計画の基本方針と目標値

### 1. 基本方針

前章までに記載した現状と課題を踏まえ、第2期美郷町観光振興計画の基本方針として、以下を掲げ、観光政策に取り組んでいきます。

#### (1) 既存フィールドの積極活用

第1期計画で掲げた基本方針の一つとして「地域資源とニューツーリズムとのネットワーク化」を掲げ、新たな地域資源の発掘と活用に取り組んできました。その主な取り組みとしては、本町の地域資源を活かしたアウトドア・アクティビティの導入であり、具体的には、登山・森林トレッキングでは女神山に新たなルートを設定したほか、七滝山での登山道の整備、真昼山、女神山、七滝山それぞれのフィールドにおいて登山届ポストや標柱、大型案内看板を設置しました。また、フィールド整備と併せて、各フィールドに合わせた用具の導入を行い、レンタサイクルの刷新や、カヌー・カヤック、スノーシューの配備などを計画的に行いました。

また、それらのフィールドを活用するため、観光人材の育成にも取り組み、町認定による「美郷町ネイチャーガイド」を創設し、6つのフィールドによるテーマ別ガイドを提供できる体制を整えました。

このように、第1期計画に基づき、ハード・ソフト両面における環境整備は一定程度整ってきており、今後はこれまで整備してきたフィールドを積極活用する段階へと移行しております。

第2期計画においては、基本方針の一つとして「既存フィールドの積極活用」を掲げ、これまで整備してきた資源を最大限に活かすことで、観光客や町民に対し、魅力的な体験を提供し、地域経済の活性化につなげていきます。その主な取り組みとしては、美郷町ネイチャーガイドによる体験型プログラムの開発・提供を核として、プログラム参加者が美郷町の自然や魅力を直接体感できる機会を増やしていきます。また、地域住民と来町者が直接触れ合う機会の創出を強化し、例えば、地域のイベントに観光客が参加できるプログラムの提供や、農作業を通じた住民との触れ合う機会の創出により、観光客をはじめとする町外からの来町者が地域住民と交流を深めることによる地域の活性化を目指します。

## （２）持続可能な観光振興

第１期計画においては、アウトドアフィールドの新設やアウトドア用具の配備など、一定のハード整備を行ってきました。他方、地方公共団体を取り巻く環境として、人口減少や少子高齢化に伴い、税収の減収とともに社会保障費が増大することが見込まれ、財政は厳しさが増していくことが予想されています。また、美郷町における観光分野の立ち位置としては、地域資源の潜在的な可能性は高いものの、全産業における観光産業の占める割合は多くなく、地域の主力産業という位置づけにはなっておりません。

こうした状況から、第２期計画の基本方針の二つ目として「持続可能な観光振興」を掲げ、既存の観光資源や施設を最大限に活用し、大規模なインフラ整備等は行わないかたちでの観光振興に取り組みます。具体的には、既存の公共施設等の改善、用途変更等を行うことで、今ある資源を活用し、美郷町を訪れる人々にとって、快適な環境の提供を行います。また、前述の基本方針の（１）と合わせて、美郷町ネイチャーガイドによる、地域の特性を活かした小規模なイベントやプログラムを充実させることで、参加者のニーズに応えつつ、地域の魅力を引き出す取り組みを進めていきます。

また、町内３か所にある温泉施設については、いずれも建設から３０年以上が経過し、修繕や更新にかかる経費が増加傾向にあります。今後の温泉施設の在り方については、町の公共施設全体の方針と整合性を図るため、美郷町公共施設最適化実施計画の見直しの中で、検討することとします。

## 2. 基本目標

基本方針による観光施策を推進するため、次のとおり数値目標として掲げます。なお、この数値目標は、第3次美郷町総合計画「行動計画（後期）」における施策の基本的な考え方や推進方針と連動させることから、同計画内で定めた計画と同一の数値目標とし、第2期美郷町観光振興計画の満了後の観光振興施策については、町の総合計画に集約し、総合計画の中で一体的な観光推進を図っていきます。

### **（1）年間滞在型観光客数（宿泊者）（令和6年度実績→令和11年度末）**

現状数値 9,926人 → 数値目標 12,000人

### **（2）ネイチャーガイドの利用者数(累計)（令和6年度実績→令和11年度末）**

現状数値 1,715人 → 数値目標+2,250人